

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和元年度 第1回 相模原市総合計画審議会				
事務局 (担当課)		企画政策課 電話042-769-8203(直通)				
開催日時		令和元年5月28日(火) 18時00分~19時05分				
開催場所		相模原市総合保健医療センター(ウェルネスさがみはら)7階 視聴覚室				
出席者	委員	22人(別紙のとおり)				
	その他	1人				
	事務局	11人 (企画財政局長、企画部長、企画政策課長 他8人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	2名
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由						
会議次第		開会 1 議事 (1) 基本計画について (2) 基本構想について (3) 市民参加事業について (4) その他 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり

(委員の発言、 会長の発言、 事務局の発言)

開会 椎橋企画政策課長

1 議事

吉田会長の進行により議事に入った。

(1) 基本計画について

- 成果を出すためにかけたコストを評価しなければならないと思うが、どのように考えているか。

現行計画では、審議会で施策の達成状況を評価していただくに当たり、評価シートを作成しており、その中に投入したコストを記載している。

- 基本構想の中に、成果重視の行政を推進していく旨の文言があり、かけたコストをいかに緻密に考えていくことが必要であるため、人件費についても、平均ではなく実人件費を出していかなければいけないのではないかと考える。

評価シートでは、過去5年間の事業費や人件費の推移についての表を作成しており、その経費の動きで問題がないかを確認している。また、市民一人当たりの投入経費においても5年間把握している。評価に当たっては、関係部局にヒアリングを行い、各委員が疑問を確認するなどのやり方も行っており、コストの視点も考慮しているが、指摘のように厳しい面もある。

- 今までの評価の状況は承知しているが、人件費が平均になっていることについて、厳密に言えば、本当は発生主義にした方が良いと思うが、全ては厳しいと思うため、まずは、人件費を実人件費にすることが大事だと思う。

意見を踏まえて検討を行っていただきたい。

- 財政の見通しについては、毎年度更新をして公表していくやり方になるとのことだが、このように変わったことについての考え方を伺いたい。

財政の見通しについては、これまでも市議会や審議会から指摘や要望をいただいた経過があり、市政の透明化などについては、現総合計画の中においても掲げ

てきたところである。実情が分からなければ、市民の皆様と情報を共有することができないため、長期財政収支を毎年度公開することで、何をすべきか、何を直すべきか、あるいは、何ができるような状況にあるのかなどの最新の情報を市民の皆様へ示していくという考え方である。

- 国としても、財政の見通しや景気の見込みという点で非常に変動し、今後については、色々な見解が示されている。相模原市においても、財政見通しを踏まえながら基本計画を作っていくことは、より実情に即した審議が可能となることから重要だと思う。

総合計画の冊子に掲載せず、別で公表することは、財政の性格上やむを得ないと思うが、これから考える施策について、どの程度の財政の枠組みで考えなければいけないのかの判断も必要になるため、大まかな財政状況を審議会に示すことを検討していただきたい。

昨年度にも提供した「財政の見通し」を基礎として、最新の情勢に基づいて数値を更新したものを8月ごろに示し、これを基に審議をしていただきたいと考えている。

施策分野別基本計画を達成するための事業について、優先度が分かるような表現の仕方を検討すること、また、重点プロジェクトについても優先順位を加味するような構成を検討していただきたい。

(2) 基本構想について

パブリックコメントで寄せられた意見の特徴として具体的な指摘が多いため、基本構想より基本計画の中で配慮すべきものが中心となっているように感じた。それらの指摘を参考に基本計画を作る必要がある。

- 議案提出までに新市長が基本構想案を確認する機会があったと思うが、審議会でも答申を行った基本構想案とほぼ同じ内容で議会に提出されている。市長が掲げた政策集の内容は、基本構想策定の議論の内容とは異なる部分があると感じ、基本計画や実施計画に反映させるにしても、それらの計画は、基本構想を実現させるためのものであるため、基本構想案をほぼ変えずに議会に出したことに違和感はなかったのか疑問を感じる。その点について見解を伺いたい。

基本構想は前市長の任期において議論されたものだが、基本構想に掲げる内容は、基礎自治体として目指すべき基本的なことを記載したものであり、それまでの市民参加や審議会での審議状況も尊重し、市議会に提案したもの。

なお、新市長が掲げた政策集については、施策または事業レベルに当たるものが多くあることから、それらを整理し、反映したうえで審議会へ示していきたい。

- パブリックコメントの中で「市民の意見や提案を聴こうとしない。「協働」の言葉を多用しているが、実態が伴っていない。」という意見があったが、新市長がまさしくやろうとしていることであり、取り入れる手筈はあったはずだが、なぜ取り入れないのか。また、総合補給廠の一部返還についても、市の回答と違う案を新市長が市民に対して提案していた記憶がある。審議会で答申を受け、新市長の思い描いていることが、基本計画や実施計画のレベルのため、基本構想はそのままでよいというのは、違うと思う。基本構想案の審議は市議会に委ねられているため、そちらで詳細を伺う。

(3) 市民参加事業について

主にどのような意見が寄せられたのか。

子育て世代から多くの意見をいただき、保育所に入れなため保育所を増やしてほしいという意見や、待機児童の数が気になるといった意見があり、一方では、保育士の働き方改革をした方が良い、保育所に入りやすくしてほしいといった意見が多く寄せられた。また、環境分野に関しては、相模原には大きな公園があって良いといった、麻溝公園などの大規模な公園を評価する意見が多く寄せられた。

寄せられた意見に対する回答は行ったのか。

職員がその場で回答できるものについては、回答を行った。

(4) その他について

特になし

本日の議事は終了とする。

閉会

椎橋企画政策課長

以 上

相模原市総合計画審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	吉田 民雄	総合政策プランナー	会長	出
2	金森 剛	相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科教授	副会長	出
3	松永 千賀子	相模原市議会議員		出
4	五十嵐 千代	相模原市議会議員		出
5	小池 義和	相模原市議会議員		出
6	加藤 明德	相模原市議会議員		出
7	阿部 善博	相模原市議会議員		出
8	須田 毅	相模原市議会議員		出
9	永井 博	相模原市教育委員会教育長職務代理者		出
10	八木 健一	相模原市市農業委員会会長		出
11	小泉 幸隆	相模原市農業協同組合代表理事組合長		欠
12	杉岡 芳樹	相模原商工会議所会頭		欠
13	中里 浩章	相模原市立小中学校PTA連絡協議会会長		出
14	坂本 堯則	相模原市自治会連合会会長		出
15	小山 龍次	公益社団法人相模原青年会議所直前理事長		欠
16	戸塚 英明	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会会長		出
17	石井 トシ子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら代表		出
18	幸山 隆	相模原地域連合事務局長		出
19	竹村 克二	一般社団法人相模原市医師会会長		欠
20	荒井 容子	法政大学社会学部社会学科教授		出
21	中田 恭子	青山学院大学理工学部化学・生命科学科准教授		出
22	長野 基	首都大学東京都市環境学部都市政策科学科准教授		欠

23	西田 恵一郎	和泉短期大学児童福祉学科准教授		出
24	大谷 聡穂	公募委員		出
25	栗田 愛子	公募委員		出
26	高田 泉	公募委員		出
27	林 佳美	公募委員		出
28	牧瀬 稔	相模原市緑区区民会議会長		欠
29	飯島 泰裕	相模原市中央区区民会議会長		欠
30	松下 啓一	相模原市南区区民会議会長		欠